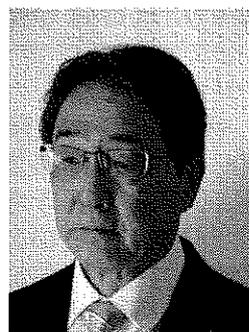


県退公連安達支部 <h1 style="font-size: 2em;">支部だより</h1>	今回 の主 な 内 容 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆副支部長の巻頭言</li> <li>◆現職の皆様からの協賛金報告</li> <li>◆今年度の専門部の反省</li> <li>◆そば打ち体験教室</li> <li>◆新春の集い(新年会)</li> <li>◆物故者報告</li> <li>◆事務局から</li> </ul>
発行日 令和8年 2月14日 発行者 支部長 渡邊 文勝	

今からやりたい三つのこと 副支部長 安齋好孝

「じーじ」と呼ばれるようになって数年がたち、今はもうその呼び名にすっかり慣れてしまいました。また、定年退職後、教育支援センターや中学校のT・T教員を経験し、無職になって3年が経過しました。無職生活にもマンネリ化が進みつつある今、その解消のために、今年は三つのことに挑戦しようと決めました。



一つ目は、家庭菜園への本格挑戦です。今まで野菜作りに興味関心は、ほとんどありませんでした。しかし、昨年の秋に、耕運機を購入し、実践しなければならない状況をあえて作りました。農業を営んでいる旧友から、「あくまで趣味は趣味。失敗するのは当たり前。深刻に考えずに軽い気持ちで取り組むことも大切だ。」とアドバイスされています。30坪ほどの畑ですが、ジャガイモや大根、白菜などを育て家庭菜園を楽しみたいと思っています。

二つ目は、住宅環境の改善です。自分の身体の健康づくりも大切ですが、将来を見据えた上で、住みよい住環境について考えていきたいと思っています。残念ながら、DIYの素質は全くないので、専門業者のアドバイスに従うのみですが…。築40年を超えた我が家は、父が建築業を営んでいたもので、当時は最新設備を導入していたようです。しかし、すべての窓のペアガラスも、今の断熱効果と比較したら、残念の一言。熱中症、ヒートショック予防のためにもまずは窓のリフォームから始めるつもりです。

三つ目は、老後を支える柱としての年金。その年金生活の見直しです。物価高に加え、マクロ経済スライドでの年金受給額が目減りなど、将来の見通しは暗いのが現状のようです。これまで、ある程度退職後のマネープランは立ててきましたが、今後は、為替や日本の経済状況にも関心を持って、生活設計の改善を図るとともに資産運用の勉強もしていきたいと思っています。

さて三つの志、果たして実現できるでしょうか？

### 協賛金報告

現職の教職員の皆様、今年度もご協力ありがとうございました。有効に使わせて頂きます。

校種別	校数	教職員数	協賛金額(円)
小学校	25校	336名	89,700
中学校	11校	183名	57,659
高等学校	1校	2名	1,000
計	37校	521名	148,359

### 専門部からの今年度の反省

**組織部** 部長 鈴木則雄

近年、少子化に伴い児童生徒数の減少は避けられない状況です。また、このことにより学校の統廃合が進められ、教職員数が減少しているため、今以上に会員数の増員は望めない状況にあります。今後は、減少していく会員数に応じた無理のない事業・予算を組み、運営していくことが現実的であろうと考えます。

新規入会に関しては、無理な勧誘は避けて、退職者の自主的な意志を尊重します。このことを踏まえ、新規入会者を増やすためには、本会自体を魅力のあるものにする努力をしていかなければならないと考えます。

**年金部**

部長 菅家英彦

年金部は知識と実践をモットーに活動を行いました。一つには、令和7年11月24日に福島市A O Zで行われた年金研修会への参加です。演題は「昭和百年の公的年金制度」というもので、県年金部長の秋山時夫氏より具体的資料を基に丁寧な話がありました。本支部参加者5名は真剣に拝聴して参りました。もう一つの実践活動は12月13日に実施した「そば打ち体験教室」です。今年は講師の方が7名、参加者は15名、マンツーマンのような形で手ほどきを受け、参加者は今までにない充実感を味わっていたようでした。試食の時に、田代会長さんからは、来年も是非行いましょうとお声をかけていただきました。年金部としては、次年度も楽しい活動を行っていききたいと思います。

**女性部**

部長 伊東祐子

今年度の女性部会は、食事をして民話を楽しみながら交流を図りたいと考え、大玉村の「森の民話茶屋」に於いて7月12日に実施しました。安達支部14名、福島支部8名、伊達支部1名の皆さんに参加していただき、実施することができました。おいしい料理をいただいた後、かたりベの「後藤みづほ」様から3つの昔話を聴きました。ほっこりした気持ちになり、充実した時間を過ごすことができました。

12月13日には、年金部と合同で「そば打ち体験教室」を楽しく体験でき、おいしくいただくことができました。

次年度も楽しく和やかに活動できるよう計画していききたいと思いますので、ご協力よろしくお願いたします。

**福祉部**

部長 小泉ヒロ子

令和7年度福祉部の活動をふり返ってみます。1つ目は、6月7日(土)に松島を訪ねての研修旅行を実施したことです。参加者21名、数十年前の修学旅行を思い出しながらの楽しい一日でした。見事なガラス工芸品をたくさん見学(藤田喬平ガラス館)して感動したり、遊覧船に乗って日本三景松島を周遊したり、すばらしい松島湾の旅でした。午後は、洗心庵で会食して、ゆっくり瑞巖寺周辺を散策して、買い物を楽しみ、その後、帰路につきました。また一つ、良い思い出となりました。

2つ目の活動は、絵手紙発信です。今年度も小幡先生にお世話になり原画を描いて頂き、暑中見舞いとして、80歳以上の先輩の皆様にご贈らせていただきました。今後も、継続していききたいと思います。

**広報部**

部長 渡邊信一良

ただ今、本会の置かれている現状を考えますと、明るい見通しはなかなか見えてきません。しかしながら今年度は役員に新しい仲間が加わったり、賀寿会や新年会に初めて顔を見せてくださった方などもおり、少し明るい兆しが見えてきている気もします。毎年各専門部が実施している行事に参加していますと、退職後の生活の中に刺激やアクセントを得る良い機会となっていると感じます。広報を通して会員の皆様にそういった行事に参加してみたいと思っていただけるとありがたいのですが、どれだけ伝わっているかは分かりません。今年度から、会報の発行が年に2回ということで事業が縮小されましたが、内容は縮小せず充実したものになるよう心がけたいと思います。

**お詫びと訂正**

前号(第74号)の6頁にありましたお悔やみの欄に誤りがありましたのでお詫びして訂正させていただきます。

【誤】

【正】

菅野 次男様 二本松市閤内 → 二本松市郭内  
安齋アイ子様 → 安齋アヤ子様

# そば打ち体験教室和やかに開催される

令和 7 年 1 2 月 1 3 日 ( 土 )

粉をあわせ、捏ね、伸ばし、切り、茹でる過程をとおして、おいしいおそばのできあがり



田代会長をはじめ、あだちそば打ち愛好会の 7 名の方を講師に迎え、丁寧なご指導を頂きながら和気藹々とした雰囲気の中で、楽しくそば打ちを体験することができました。

《新春の集い》新年会が開催される

令和 8 年 1 月 1 7 日 ( 土 )



三浦邦雄様の乾杯の音頭で令和 8 年の新春を祝う宴が賑やかな内に開催されました。新年会恒例の女性部の方による華やかなフラダンスの披露があり、その後全員で輪を作り、おどりました。真剣なまなざしでダーツゲームに取り組む姿も見られました。最後に原瀬副支部長の指揮で「高原列車は行く」を全員で合唱して会を閉じました。



心よりお悔やみ申し上げます

令和 7 年 1 0 月 ~ 1 2 月 まで 3 名の方がお亡くなりになりました

・鈴木 正宏 様	R7.11.10	逝去	90 歳	二本松市亀谷
・松浦 國男 様	R7.12.01	逝去	93 歳	二本松市若宮
・前田 長 様	R7.12.06	逝去	87 歳	二本松市表

事務局から

☆ おめでとうございます このたびの秋の叙勲で 2 名の方が受賞されました  
( 1 1 月 3 日付 )

- ◎ 佐藤 吉郎 様 瑞宝双光章 (元福島第三小学校長) 二本松市油井
- ◎ 原瀬久美子 様 瑞宝双光章 (元玉井小学校長) 本宮市本宮

☆ 歓迎いたします このたび新しく会員を迎えました  
( 1 0 月 1 7 日付 )

- 佐藤 等 様 本宮市本宮字関根 2 8 班 県職

編集後記 今回試験的に 3, 4 ページ目をカラーにしてみました。